



滑川市の家計簿



令和3年度 滑川市一般会計予算を、月の家計に例えると次のようになります。

預金残高： 62.0万円

収入	給料	手当	妻のパート収入	預金の取崩し	借入金	その他
	21.0万円	2.0万円	15.2万円	1.7万円	4.7万円	
	市税・地方交付税			国・県支出金 地方譲与税 など	繰入金	市債
予算科目						

分かりやすくするため、予算額を2500分の1とし、月収約45.3万円(年収約543万円)の家計に例えています。

分担金及び負担金
使用料及び手数料
財産収入・諸収入

0.7万円
繰越金
寄附金

借金残高： 423.4万円

支出	食費	医療費	借金返済	光熱費・日用品	子どもへの仕送り	家電購入・家の修繕など	その他
	6.2万円	10.4万円	3.3万円	6.6万円	4.1万円	7.5万円	7.2万円
予算性質	人件費	扶助費	公債費	物件費	繰出金	普通建設事業費、維持補修費	補助費等・貸付金・予備費 など

義務的経費 19.9万円
(支出に占める割合…44.1%)
(令和2年度…19.6万円(48.6%))

義務的経費は、支出の中でも削減することが難しい経費のことです。この経費が支出に占める割合が高いと、自由に使えるお金が少なくなります。



解説

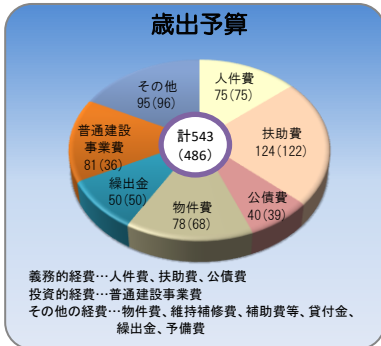
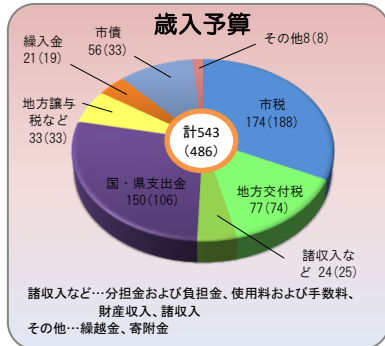
収入

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、稼ぎである給料(市税・地方交付税)は21.0万円。手当(諸収入など)を含めると23.0万円です。それでも足りない月々の支出を補うために、妻のパート収入(国・県支出金、地方譲与税など)や、預金の取崩し(繰入金)、借入金(市債)などで21.6万円をまかないます。借金を極力減らして不足分を預金の取り崩しで補うため、年度末の預金(財政調整基金)残高は62.0万円となる見込みです。

支出

生活の根幹である食費(人件費)は6.2万円、光熱費・日用品(物件費)は6.6万円と今年もできるだけ節約を心掛け、厳しい家計を切り盛りしていきます。子どもへの仕送り(繰出金)は4.1万円と減っていますが、支出の最も大きな割合を占めている医療費(扶助費)は昨年よりもさらに増えて10.4万円と年々と増えており家計にとって大きな負担となっています。また、借金返済(公債費)は昨年と同額の3.3万円ですが、家電購入や家の修繕など(普通建設事業費・維持補修費)は昨年の2倍を超える7.5万円の支出を予定していることから、借金残高は423.4万円となり、引き続き、繰上返済や新たな借り入れを最低限とするなど、節約に努める必要があります。

(参考) 令和3年度 滑川市一般会計予算 (年間ベース2500分の1、単位：万円、カッコ内は前年度数値)



財政調整基金残高

2年度末残高見込： 78.0万円

3年度取崩し予定： 16.0万円

3年度末残高見込： 62.0万円

市債残高

2500分の1

2年度末残高見込： 404.9万円

3年度借入予定： 56.1万円

3年度返済予定： 37.6万円

3年度末残高見込： 423.4万円